

事業費補助金調査票(表)

補 助 金 名	野ぞ駆除事業補助金					
---------	-----------	--	--	--	--	--

担 当 課	経済部 農政課					
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業	
	01	06	01	02	20	— 26
事 業 名	病害虫防除事業					
新規・継続の別	継続					
補 助 ・ 単 独 の 別	市単					
補 助 の 種 類	事業					

R5実施計画額	146	千円
R4 予 算 額	146	千円
R3 決 算 額	149	千円
R2 決 算 額	146	千円
R1 決 算 額	245	千円
H30 決 算 額	239	千円
H29 決 算 額	261	千円

事 業 の 趣 旨 ・ 目 的	成田地区・下総地区の稻作・畑作農家を対象に野鼠による農作物被害の軽減を図るために、薬剤散布を実施するにあたり、薬剤購入費の一部を補助することにより、農産物の品質向上と安定的生産を確保し、農業経営の安定に資することを目的とする。			補 助 対 象 者	【補助対象者】 本事業の目的に即し、薬剤の購入および配布、防除作業等の事業の取りまとめを行う団体	
	開始年度 平成 16 年度				【補助対象経費】 ・使用薬剤…ラテミンリン化亜鉛	
根 拠 法 令 等	(市) 成田市農業振興等補助金交付要領 野ぞ駆除事業補助金交付基準			經 費 ・ 補 助 率	【補助率】 薬剤購入費の1/2以内	
					【国県等の補助率】 市単独補助事業のため、国県等の補助なし	
留 意 事 項				成 果 指 標	【近隣自治体の補助率】 近隣自治体では、類似の補助事業を実施していない	
決 算 内 訳	令和 3 年度決算額等 (単位:千円)			成 果 指 標	成果指標:散布面積 (単位:ha)	
		金 額	件 数			
	全体事業費	298				
	うち市補助金	149	2			
	うち国補助	0				
	うち県補助	0				
	自己負担	149				
			50.0%			

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興、雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	稲作・畑作地帯における、野鼠からの被害を減少させる意味からも、市民のニーズに適合している。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の補助率は1/2以下である	はい	山林等に囲まれている水田、畑において、野鼠による農作物被害が多いため、被害を未然に防ぎ、農業者の経営安定を目指すという観点から、継続して実施する必要がある。
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	高い	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	散布面積 R1:491.1ha R2:460.8ha R3:440.4ha
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	散布面積は減少傾向にあるが、本事業の実施により、農作物への被害を防ぐことができることから、有効といえる。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でないと認められる経費		はい
最終評価	維持継続		
所見	後継者不足による農業者の減少に伴い、散布面積は減少傾向にあるものの、本事業を実施することで、野ネズミ駆除の実施により被害を減少させ、農作物の品質の向上と安定生産を確保するためにも、今後も継続して実施する。		